

2020.8.6

## 酷暑 機械にお任せ 肥料で県内初試験

生産者の高齢化に対応した作業の軽減や省力化を目的に、三原市沼田東地区の約 70 アールで農業用ドローン（小型無人飛行機）を使った水稻の専用肥料の成否試験をしました。肥料は片倉コープアグリの「空散追肥 360」を使い、県内では初の実用試験で、飛行時間や肥料の散布の均一性などを検証しました。

専用肥料はケイ酸カリを中性にしてあり、機体を腐食させにくいのが特徴です。ドローンでの散布作業時間は 10 アールあたり約 5 分と、散布機での作業と比べ、10 分の 1 程度の時間で済み、省力化が期待できます。

三原西営農配送センターの永森昌宏センター長は「大きな水田での負担軽減に大きく貢献できる」と期待を示しました。

